

複方ヨード・グリセリン「コザカイ・M」

日本薬局方

複方ヨード・グリセリン
Compound Iodine Glycerin貯 法：遮光した気密容器
使用期限：ラベルに記載

承認番号	16000AMZ04519000
薬価収載	1950年10月
販売開始	1949年11月
再評価結果	1982年 8月

【禁忌】（次の患者には使用しないこと）

本剤又はヨウ素に対し過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

1. 組成

本剤 100mL 中、下記の成分を含有する。

有効成分	日局 ヨウ素	1.2g
	日局 液状フェノール	0.5mL
	日局 グリセリン	90mL
添加物	日局 ヨウ化カリウム	2.4g
	日局 ハッカ水	4.5mL

2. 製剤の性状

本剤は赤褐色粘稠性の液で、特異なおいがある。

比重 d_{20}^{20} ：約 1.23

【効能・効果】

咽頭炎、喉頭炎、扁桃炎

【用法・用量】

症状に応じ、適宜適量を患部に塗布する。

【使用上の注意】

1. 相互作用

併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
水銀剤	ヨウ化水銀の毒性（腹痛、嘔吐、下痢、皮膚の炎症等）があらわれるおそれがある。	ヨウ化水銀が発生するおそれがある。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1) 重大な副作用

アナフィラキシー：他のヨード製剤において、アナフィラキシー（呼吸困難、潮紅、蕁麻疹等）（0.1% 未満）があらわれることがあるとの報告があるので、このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

(2) その他の副作用

種類\頻度	頻度不明
過敏症 ^{注)}	発疹、口腔粘膜び爛等
甲状腺	血中甲状腺ホルモン値（T ₃ 、T ₄ 等）の上昇あるいは低下などの甲状腺機能異常

注) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

他のヨード製剤において、先天性甲状腺機能低下症の乳児の報告があるので妊娠中及び授乳中の婦人には、長期にわたる広範囲の使用をさけること。

【薬効薬理】

ハッカの清涼作用と、グリセリンの不乾性と甘味による刺激緩和作用と、ヨウ素と液状フェノールによる殺菌・防腐・消毒作用を発揮する。

【有効成分に関する理化学的知見】

1. ヨウ素

一般名：ヨウ素 (Iodine)

原子量：126.90

元素記号： I

性状：灰黒色の板状又は粒状の重い結晶で、金属性の光沢があり、特異なおいがある。ジエチルエーテルに溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けやすく、クロロホルムにやや溶けにくく、水に極めて溶けにくい。ヨウ化カリウム試液に溶ける。常温で揮散する。

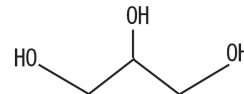
2. グリセリン

一般名：グリセリン (Glycerin)

分子式：C₃H₈O₃

分子量：92.09

構造式：



性状：無色澄明の粘性の液で、味は甘い。水又はエタノール(99.5)と混和する。吸湿性である。

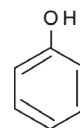
3. フェノール

一般名：フェノール (Phenol)

分子式：C₆H₆O

分子量：94.11

構造式：



性状：無色～僅かに赤色の結晶又は結晶性の塊で、特異なおいがある。エタノール(95)又はジエチルエーテルに極めて溶けやすく、水にやや溶けやすい。フェノール10gに水1mLを加えるとき、液状となる。光又は空気によって徐々に赤色を経て暗赤色となる。皮膚を侵して白くする。凝固点：約40°C

【包装】 500mL

【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部

〒164-0011 東京都中野区中央 5-1-10

TEL 03-3381-2004

FAX 03-3381-7728



発売元

吉田製薬株式会社

東京都中野区中央 5-1-10

製造販売元

小堺製薬株式会社

東京都墨田区両国 4-36-9